

【高等学校用】

令和2年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要
嬉野市に位置する塩田工業高校と嬉野高校が再編され、令和2年度は新嬉野高校の完成年度となる。新嬉野高校は塩田校舎と嬉野校舎からなる校舎制の高校であり、地域に期待され活気に満ちた学校づくりが求められる。そのためには両校舎の教職員の連携・協力体制の構築がより一層必要である。両校舎ともに今までの成果も十分あるが、それぞれ課題もあり、克服していかなければならない。

2 学校教育目標
校訓である「躍動」「練磨」「敬愛」の精神を生かして、専門教育を通じた「人づくり」教育を行い、社会で生き抜くために必要な学富力と敬う心を育み、志をもって社会に貢献できる専門技術者の育成を目指す。

3 本年度の重点目標
1 進路目標の早期確立を図り、生徒全員の進路実現を目指す。
2 専門的知識・技能を習得させ、資格取得や各種大会・コンテスト等への積極的な参加を通して、将来のスベシャリストたる生徒を育成する。
3 わかる授業、力がつく授業を実践し、教材研究や指導の工夫・改善を行い、確かな学力の定着を目指す。
4 積極的な生徒指導で、基本的生活習慣(挨拶・服装・頭髪等)の確立と共に、敬愛の心を育み、調和のとれた生徒を育成する。
5 校舎制による円滑な学校運営を図り、社会に開かれた教育課程に取り組みながら、地区行事や地域ボランティア等に積極的に参加して、地域の期待に応えられる開かれた学校をつくる。

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目
Table with columns: 評価項目, 重点取組内容, 成果指標(数値目標), 具体的取組, 達成度(評価), 最終評価(実施結果), 評価, 学校関係者評価(意見や提言)

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
Table with columns: 評価項目, 重点取組内容, 成果指標(数値目標), 具体的取組, 達成度(評価), 最終評価(実施結果), 評価, 学校関係者評価(意見や提言)

5 総合評価・次年度への展望
「学力向上」については、概ね目標を達成し高評価である。次年度も魅力ある授業づくりにつとめ、継続的に朝の小テストを実施していく。また、資格取得についても、積極的に挑戦させたい。
「心の教育」については、いじめ対応は今後も重要である。生徒の観察やアンケートの実施により、未然防止、早期発見、即時対応が求められる。
「健康・体づくり」は高評価であった。部活動の加入について、その意義も含めて次年度も勧奨していく。
「業務改善・教職員の働き方改革の推進」については、様々な課題があり、解決が難しいものもある。ICT機器を活用したオンライン行事など、できることから取り組んでいくことが必要である。
「魅力と活力ある高校づくり」の「地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト」については、次年度3年目を迎え集大成の年度となる。プロジェクト終了後も継続できる仕組みづくりに取り組まなければならない。